

知立市の観光行政について

市議会 三宅守人議員



問 知立の山車文楽とからくりがユネスコの無形文化遺産登録された事について今後、市がどのように関わっていくのか。

答 知立駅周辺整備と連携して登録された事をもっと県内外、全国、世界に発信していく。

問 知立駅周辺整備の進捗状況と現代版宿場町、街並みデザイン構想の内容は。

答 事業の進捗状況は、昨年度末の金額ベースで、連立事業は4割、区画整理事業は7割。区画整理事業の物件移転件数は82%程度。知立駅北再開発事業は、年内で終了する。街並みデザインプロジェクトは、市民、若手市職員の2団体が検討し、提案されたものが現代版宿場町。

問 ユネスコ登録を今後どう生かしていくか。

答 保存と継承がテーマだと思いが保存会は粛々と継承していく。観光、経済発展に繋げていく人は活用される。

問 知立市の観光協会の法人化、

独立の準備、交流センターの民間委託への準備を進めているか。

答 現在は、経済課が事務局で活動が活発で無い。民間の活力を入れる準備を進めている。

問 知立市観光ガイドボランティアは何に基づいているか。

答 平成16年に結成され、行政の組織で無く、民間団体である。



知立まつり

特別委員会で行政視察を実施しました

本市議会には、知立駅周辺整備特別委員会と議会改革特別委員会の2特別委員会が設置されており、隔年にて行政視察を実施しています。今期は、知立駅周辺整備特別委員会が下記の行政視察を実施いたしました。

【実施日】 平成30年1月22日(月)～23日(火)

○第1日目

福山駅周辺地区中心市街地活性化に関する基本方針等について (広島県福山市)

中国・四国地方における拠点性と求心力のある都市づくりを進める福山駅周辺地区の視察調査。



○第2日目

阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業について (大阪府大阪市)

事業の進捗状況が似通っている、阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業を視察調査。

